



にじいろのいえの紹介

- 運営母体 : 一般社団法人月虹 (げっこう)
- 名称 : ホームホスピス にじいろのいえ
- 場所 : 宮城県仙台市太白区
- スタッフ : 10名
- 主な利用者 :
 - がん、難病、障害など医療度の高い方
 - ご自宅での生活が難しい方
 - 介護してくれる家族がいない方など
- 定員 : 6名
- 設立 : 2014年 1月 (同年4月開所)
- 主な連携者 : 往診医・訪問看護ステーション・介護事業所

※ 宮城県で唯一の「ホームホスピス」(東北で2番目)

それぞれの生き方

～ホームホスピスにできること～

2015年11月8日 がん医療フォーラム仙台2015
 ホームホスピス にじいろのいえ(一般社団法人 月虹)
 代表 今野 まゆみ

ホームホスピスって何？

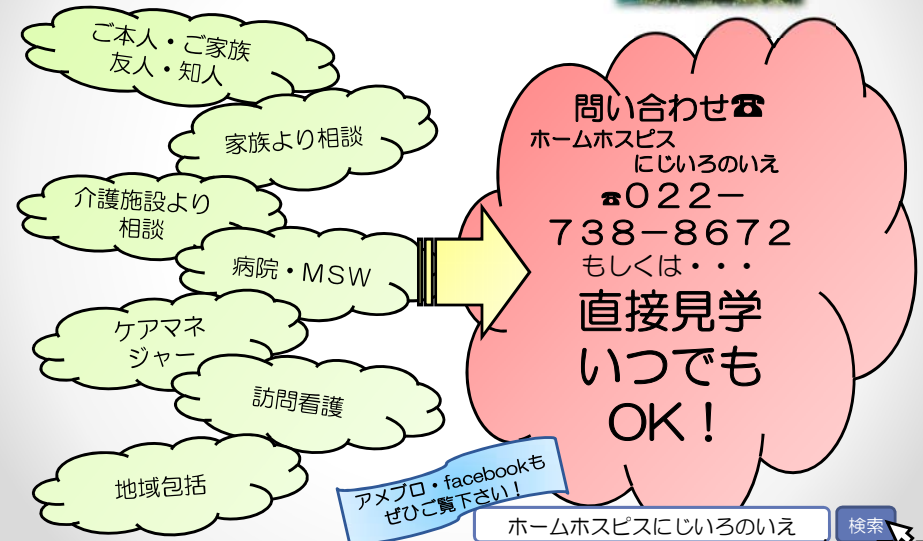


ホームホスピスは、介護保険、障害福祉のどちらにも属していない、制度にとらわれていない施設です。がん末期、難病、若くにして重い障害をお持ちの方など、医療依存度が高い方が生活できる場所です。

ホームホスピスにじいろのいえは、庭と畑がある一軒家です。常に人の声と生活の音・匂いを感じながら生活できます。

地域の往診医、訪問看護師、薬剤師、訪問歯科医師、鍼灸師、訪問マッサージ、訪問入浴、ヘルパー、臨床宗教師などとチームを組み、その方が最期まで安心して過ごせるように支えます。

入所相談はどなたからでも



それぞれの比較

	自宅	ホームホスピス にじいろのいえ	介護付き 有料老人ホーム	特別養護 老人ホーム
入居対象	—	がん、難病など 医療依存度高い方 (年齢問わず)	高齢者	高齢者
費用	介護保険 1～2割負担 + 生活費及び家賃	・入居金 20万円 ・介護保険 1～2割負担 + 1.3～1.8万円	・入居金 0～数千円 ・1.2～3.0万円	5～1.5万円
特徴	住み慣れた場所で サービスが受けられ る	家庭的な雰囲気の中 で、自宅と同様の サービスが受けられ る	民間事業者によって 運営される介護施設。 施設内のスタッフに よる介護が受けられ る	常に介護が必要な方 が入所できる。日常 生活の世話や介護を 受けられる
メリット	・融通がきく ・住み慣れた場所で 過ごせる	少人数制 常に人の目がある 胃ろう・たん吸引可	レクリエーションや 設備が充実している	・低価格で生活全般 まで世話が受けられ る。 ・重度まで利用可能。
デメリット	・家族介護負担増 ・本人、家族が引き こもりがちになる。 ・24時間介護が 必要になると高額な 費用がかかる。 (例：1日25,000円 ×30日=75万円)	・人数に限りがある ため、入居までまた なければならぬこと もある。	・費用がかかる施設 も多い ・外部サービス利用 型は要介護度が高い と介護サービス費用 が割高	入居待ちが多くいつ 入居できるかが分か らない

入居金と月額利用料

有料老人ホーム

入居金	月額利用料の目安
0～5千円以上	12～4.0万円

終身利用権方式といわれる契約方式が一般的で、**入居一時金と月額利用料、介護保険自己負担額、その他の費用**が必要になる。施設の立地や設備により入居金の額は異なるが、近年では入居時にかかる費用の一時金が0円になる代わりに月額利用料が比較的高めに設定されている入居プランも増えている。

特別養護老人ホーム

入居金	月額利用料の目安
0円	7～1.5万円

介護保険施設といわれる施設の料金形態。月額利用料の内訳として、**介護保険自己負担額費用、賃料・食費、その他の費用**が必要となる。入居一時金は不要。所得などに応じて居住費・食費が減額される場合がある。

サービス付き 高齢者住宅

入居金	月額利用料の目安
敷金として家賃の 2～3ヶ月分の場合が大半	5～2.5万円

賃貸借方式といわれる契約方式が多く、一般的な賃貸契約と同様に、**入居時に敷金・礼金や前払い賃料**などが必要になる。月額利用料には、**賃料・管理費・食費・水道光熱費**などが含まれる。

ホームホスピス にじいろのいえ

入居金	月額利用料の目安
20万円	1.3～1.8万円

月額利用料には、**居室料・食費・光熱費・雑費・生活支援費**が含まれる。**介護保険自己負担額費用、その他の費用**が必要になる。介護保険対象外の方は、介護量に応じて料金が異なる。

これまでの入居者状況 (看取り)

年齢/性別	疾患名	入居経緯	介護状況	入居期間
80代/男	食道がん	地域包括	妻のみ	55日
70代/女	大腸がん	緩和ケア病棟	独居	48日
70代/女	肝がん	家族	独居	248日
70代/男	肺がん	緩和ケア病棟	妻のみ	16日※緩和ケア病棟 に戻り翌日お亡くなり
90代/男	上行結腸がん	一般病棟	妻のみ (要介護認定者)	9日
70代/女	右卵巣がん	往診医	独居	32日
70代/女	子宮がん肉腫	一般病棟	夫のみ	42日
80代/男	胆管がん	ケアマネジャー	妻のみ (要支援認定者)	10日
50代/男	肺がん	生活保護課	独居	165日

それぞれの思いと実現への支援

年齢/性別	疾患名	本人・家族の思い	実現への支援
80代/男	食道がん	自宅に近いところで 自然を見て過ごしたい	奥様がほぼ毎日面会に来てくれた。 多くを語らない本人にたどそばにいる関わり。
70代/女	大腸がん	最期までトイレに行きたい みんなと1日でも一緒にいたい	亡くなる前日までトイレに連れて行った。 毎晩足浴をした。
70代/女	肝がん	できるだけ外出したい 励ましあって生きたい	亡くなる半月前まで外出した。 ここでいいんだよと思わせる関わり。
70代/男	肺がん	好きなものを好きなだけ 食べたい	制限をかけず、食べたいものを好きなだけ食べて もらった。
90代/男	上行結腸がん	安心できる場所で 過ごしたい	常に人の声と生活の音の中で過ごせるように関わ る。
70代/女	右卵巣がん	食べたいものを食べたい ときに食べたい	毎食毎食食べたいものを聞き、用意した。
70代/女	子宮がん肉腫	家族とのつながりを感じなが ら過ごしたい	2日に1回のご主人の面会と、元看護師としての 知識をここでの役割となるように関わる。
80代/男	胆管がん	知っている人たちと安心して 過ごしたい	奥様、ご親戚、ご友人の面会。名前も知っている 職員との自然なコミュニケーション。
50代/男	肺がん	3食食べて、毎日お風呂に入る 最期までトイレに行きたい 1人は嫌だ	好きなものを好きな時に好きなだけ、本人のペースを 尊重して関わった。

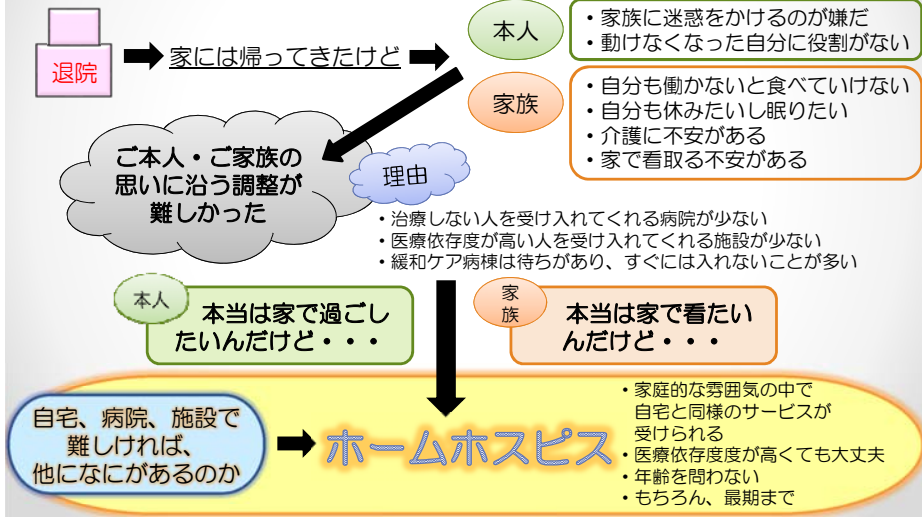


それぞれの生き方

物語を紡ぐ

なぜホームホスピスを始めたのか

(ケアマネジャー・MSWとして在宅緩和に10年間携わってきた中で、...)



「本当は家が良かったけど、この人たちと過ごせて良かった。」

と言っていただけのように...